

物流による環境負荷低減と輸送効率の最大化への取り組み

株式会社遠藤照明(代表取締役社長 遠藤 邦彦)は、高品質な照明製品をお届けするプロセスにおいて、「地球環境への配慮」と「物流の安定性」の両立を経営の重要課題としています。現在、輸送過程におけるCO₂排出量の削減と、限られた輸送リソースの有効活用に向けた重点施策を推進しています。

1. トラックの積載効率の向上による輸送回数の削減

照明器具には、形状が長い製品や軽量で破損しやすい製品が多く、従来は荷台上部にデッドスペースが生じやすいという課題がありました。この課題を解消するため、特注の仕切り棚(ダンカーゴ)やパレットを導入し、多段積みを可能にしました。これにより、1台あたりの積載率を最大約1.67倍に引き上げ、輸送回数を削減し、輸送コストの最適化とともに、CO₂の排出抑制を同時に実現しています。また、デッドスペースの解消は輸送時の揺れによる衝撃を抑える効果もあり、安全性の向上にも寄与しています。

<トラックに荷物を積み込んだ様子>



2. 航空輸送から海上輸送へシフト

環境負荷の高い航空輸送を最小限に抑えるため、海上輸送への切り替えを徹底しています。生産管理システムと在庫計画の精度を向上させることで、十分なリードタイムを確保できる体制構築を推進してきました。緊急対応時を除き、原則として海上輸送を選択することでサプライチェーン全体の脱炭素化に貢献し、昨年比で航空輸送を約14.3%削減することに成功しました。

その他にも、輸送ルートの見直しによる走行距離の短縮や、製品のまとめ梱包による輸送密度の向上など、多角的な視点から施策を実践しています。

今後は、海外工場の物流の見直しを含め、グローバルな最適化にも取り組む予定です。

遠藤照明は、「人と地球にやさしい会社」として、地球環境への配慮と強靱で収益性の高い物流網の構築に取り組み、これからも企業価値向上を推進してまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社遠藤照明 管理本部 経営企画部 TEL:06-6267-7095 FAX:06-6267-7096